

ガス漏れ通報専用電話  受付時間:24時間(ガス漏れ通報専用・無休)

東京ガスネットワーク 緊急保安受付窓口

☎ 0570-002299

※必ず「0」からダイヤルしてください。

(ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご使用になれない場合
(IP電話・海外からのご利用など)

☎ 03-6735-8899

ガス漏れ以外の導管に関するお問合せ先(内管工事等)

東京ガスネットワーク

☎ 0570-023388

(ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご使用になれない場合
(IP電話・海外からのご利用など)

☎ 03-6627-6257

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～19:00、日曜日・祝日 9:00～17:00

- 上記以外の時間帯は、ガス臭い、ガスが出ない等の安全に関わる緊急のご用件のみを承っております。
ご理解とご協力をお願いいたします。
- 以下の時間帯・曜日・時期は混雑が予想されます。
 - ・ 9:00～10:00 ・ 日曜日・祝日 ・ 引越しシーズンとなる3月中旬～4月上旬

お電話でのお手続き・お問い合わせ

株式会社CDエナジーダイレクト

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町4-5-1 (さくら室町ビル)

代表電話 (お客さまセンター)

 **0570-037-874**

受付時間 月曜日～金曜日：9:00～19:00 土曜日・日曜日・祝日：9:00～17:00

※電話番号をよくお確かめの上、おかけいただきますようお願いいたします。

CDエナジーダイレクトは、お客さまよりガスの使用のお申し込みを受けた時およびガス機器調査時、その他、法令で定められた頻度において、ガスの使用に伴う危険防止のために必要な事項の周知および調査を行います。

ガスを安心して
ご利用いただくために
Webでもご確認ください。

Webサイト
CDエナジーダイレクト
ホームページ

CDエナジー

検索

でアクセスしてください。



2026年1月現在(T)



ガスご使用の手引き

あんしん



ガイド

都市ガス13A用

保存版

大切なお知らせです。
わかりやすい場所に
保管してください。

● ウィズガスであんしんできる暮らしを	P01	●
● あんしんしてガスをお使いいただくために	P03	●
● どうする！？ こんなもしも…	P05	●
● キッチン編	P09	●
● リビング編	P11	●
● お風呂編	P12	●
● 給排気設備編	P13	●
● 接続具編	P15	●
● 接続工事編	P17	●
● 業務用編	P19	●
● よりあんしんしてガスをお使いいただくために	P23	●
● ガス機器のお手入れ術	P29	●
● ガスの節約術	P30	●

ガスのある暮らし、 それが**ウィズガス住宅**

家族ごとにさまざまな幸せな形があるように、
私たちの考える豊かな暮らしも決してひとつではありません。
その人、その家庭にいちばんふさわしい暮らしを
一緒に考え提案し、作り続けていくこと。
ガスがあるから、暮らし自由自在。それがCDエナジーダイレクトの願いです。

皆さまがより**あんしん**してガスをお使いいただけるように、
このあんしんガイドをお配りいたしました。ぜひ、ご一読くださいませ。



～**ウィズガス**であんしんできる暮らしを！～

天然ガスは地球にやさしい
クリーンなエネルギーです。

天然ガスは、地球に有害なイオウ酸化物を出さず、
しかも地球温暖化の主な原因と言われている
二酸化炭素の発生も少ないクリーンなエネルギーです。



ガス機器の**あんしん**機能は
ますます充実しています。

ガス機器はまだまだ進化の真っ最中。
最新のガス機器には、
万々に備えた充実の**あんしん**機能を搭載しています。



24時間365日。もしもの場合は
すぐ駆けつけます。

ガスもれがあった場合には東京ガスネットワークが
24時間365日緊急受付・出動体制を整えています。
もしの場合は裏表紙に掲載のガス漏れ通報専用電話へ
すぐに連絡してください。

必ずお守りください。

あんしんして
ガスをお使いいただくために、

この「あんしんガイド」には、ガスを正しく安全にお使いいただくため、また、お客さまや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたい注意事項を記載しています。

「あんしんガイド」に記載された注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、火災が発生する可能性、ご使用者が死亡または負傷する可能性、または物的損害が発生する可能性が想定されます。この「あんしんガイド」をよくお読みいただき、ガスをご使用の際には、記載事項を必ずお守りください。

なお、ガス機器やガス接続具の安全なご使用・日常管理のために、それぞれの取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容をご理解のうえご使用ください。

ガス機器をお使いいただく際の
注意事項に関する動画です。

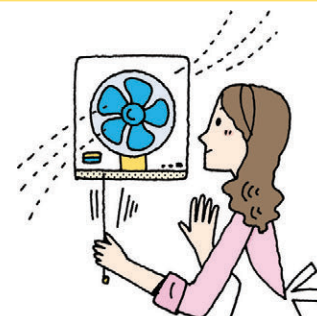
一般社団法人 日本ガス協会
一般周知動画

換気の重要性／日常の点検と管理
ガス栓と接続具／災害時の対応



ガスご使用中は
換気を忘れずに。

不完全燃焼防止装置が付いていない
ガス機器をご使用のお客さまは、
お取り替えをおすすめします。



●換気が不十分だと新鮮な空気が不足し、不完全燃焼による
一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。

必ず換気扇を回すか、窓を開けて換気をしましょう。
不完全燃焼防止装置が付いている機器でも、必ず換気をしてください。

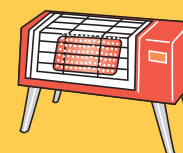
ガス小型
湯沸器



屋内設置形の
ガス給湯器・
ガスふろがま



金網式ガス
ストーブ



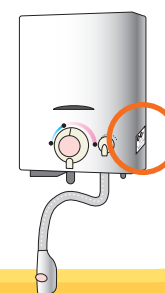
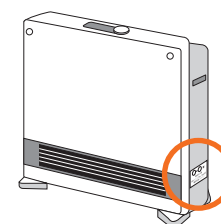
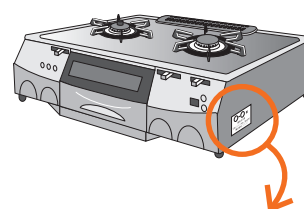
ガス機器はガスの
種類と合うものを。

現在ご使用のガス機器に貼ってある
ラベルをご確認ください。

●ガス機器とガスの種類が合っていないと、
不完全燃焼をおこす原因となり大変危険です。

CDエナジーダイレクトがお客さまにお届けしているガスは、都市ガス
13A（天然ガス）です。

ガス機器に貼ってあるラベルでガスの種類を確認してください。
ガスの種類が合っていない場合は、ガス機器の調整（有償）が必要です。



○—○ 型

都市ガス用
13A○○○○kW (kcal/h)
株式会社○○○○

「都市ガス用 13A」と表示されていればあんしんです。

※ラベルの貼り付け位置はガス機器によって異なります。



天然ガスには一酸化炭素などの有毒な成分が含まれていないため、生ガス中毒による自殺はできません。しかし、生ガスを放出されますと、爆発や火災などの原因になります。絶対におやめください。



・ガス機器ご使用時に不快な臭い、異常音、炎のあふれ、機器本体の異常な過熱などがあれば、すぐにご使用を中止し、販売店までご連絡ください。
・ガス機器の定期的な点検（有償）や早めのお取り替えをおすすめします。特に長年お使いいただいたガス機器は、部品の劣化によって機器が故障したり、機器が損傷を受ける場合があります。また、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こし死亡事故につながる場合があります。異常を感じられた場合は、すぐにご使用を中止し、販売店までご連絡ください。

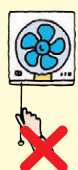
!? もしも…



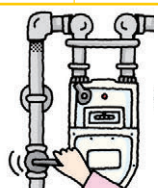
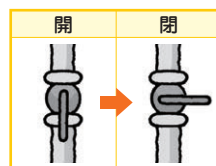
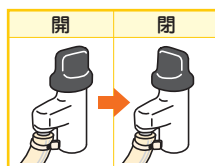
もしも…

⚠ ガスもれに気づいたら… (ガス警報器がお知らせした場合も同じです。)

換気扇、電灯などのスイッチには絶対にふれないでください(火気厳禁)。



1 窓を開けて新鮮な空気を
入れてください。



2 ガス栓やメーターガス栓を
閉めてください。

① および ② を実施してガス漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へ
ご連絡いただき、屋外に避難してください。

万一のガスもれ・不完全燃焼・火災を
光と音声でお知らせします。

住宅用火災・ガス・CO警報器

万一のガスもれと不完全燃焼による有毒な
一酸化炭素(CO)の発生を、光と音声でお知ら
せします。より安心な、火災発生を感知する機
能をあわせ持ったタイプをおすすめしています。



※火災警報機能なしのタイプもあります。

※有効期限(3年もしくは5年。機種により異なります。)がきたらお取り替えください。



集合住宅の共用部や屋外でガスの臭いが
する場合も、ガス漏れ通報専用電話(裏表
紙に掲載)へ連絡してください。

もしも…

⚠ 地震・台風など自然災害がおきたら…

地震のときは、身の安全を最優先に!

まずは身の安全を確保しましょう。机の下に身を隠すなどをしてください。
震度5相当以上の地震の場合は、マイコンメーターが自動的にガスを遮断します。
あわてず落ち着いて行動しましょう。

1 揺れがおさまったらガスの火を消してください。
ガス機器の器具栓を閉め(消火)、ガス栓(元栓)も
閉めてください。

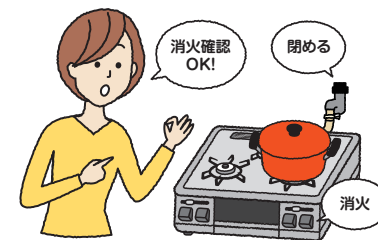
2 ガスもれに気づいたら、すぐ窓や戸を開けて、ガス
漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へご連絡いた
だき、屋外に避難してください。

※火気や電気は絶対に使用しないでください。

3 再びガスをお使いになるときは、ガス臭くないかよく確かめてから、ガス栓を開いて
ください。

4 ガス栓を開いてもガスが出ないときは、マイコンメーターをチェックしてください。

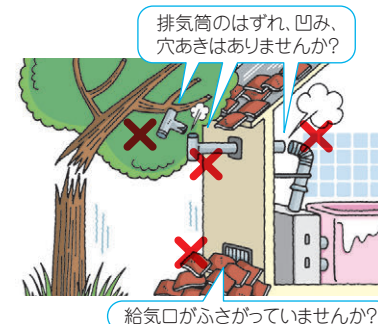
※大きな地震などでその区域のガスの供給を停止している場合や、ガスの配管などが破損している場合は、
マイコンメーターを操作してもガスは使用できません。



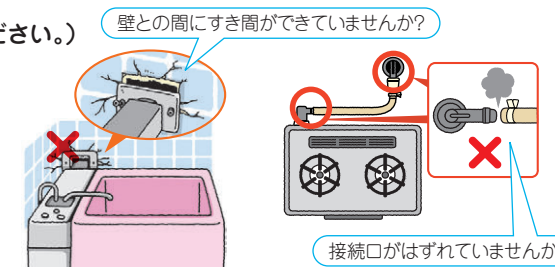
自然災害のあと、ガスをふたたび使うとき

◆次のことを確認してください。

- ✓ ガス機器周辺でガスの臭いがしないか
- ✓ ガス機器本体に変形・破損など異常がないか
- ✓ 煙突式などの屋内外の給排気設備に異常がないか
(はずれ・凹み・穴あきがないか目視で確認してください。)
- ✓ ガス接続具が正しく接続されているか
(接続具に外れがないか目視で確認してください。)



※停電等で換気設備が稼働しない場合は、
一酸化炭素中毒事故のおそれがあります
ので、窓を開けるなど換気に十分ご注意く
ださい。



●上記の内容をまとめた動画はこちらをご覧ください

もしも地震や台風などの自然災害が起きたら～ガス機器を使用する前に確認していただくこと～
【一般社団法人 日本ガス協会作成動画】



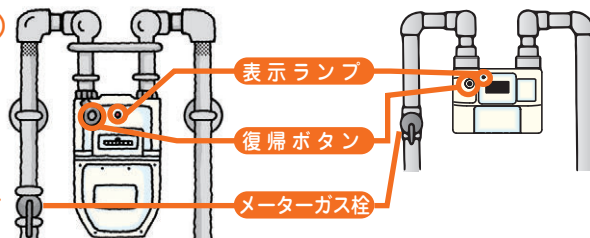
●異常を確認した場合は、一酸化炭素中毒や火災などの事故のおそれがありますので、お買い
求めになった販売店またはメーカーへ連絡し、点検・修理(有償)を依頼してください。
●ガス機器を使用して目がチカチカしたり、気分が悪くなったり、不快な臭いがした場合は、
すぐにご使用を中止し、ガス漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へご連絡ください。

もしも...

⚠ ガスが出なかったら...

◆マイコンメーターの赤い表示ランプが点滅していないかご確認ください。
マイコンメーターは、次のような場合にガスを遮断します。

- 大きな地震(震度5相当以上)
- 多量にガスが流れた場合
- ガス圧力の低下
- ガスが長時間、流量の変動なく流れた場合



ガスが出ない場合、ガスもれの疑いもありますので、ガス栓の誤開放、ゴム管がはずれていないか、ガス臭くないかを十分ご確認ください。もし、ガス臭い場合は、5ページに従って、すぐにガス漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へ連絡してください。

◆マイコンメーターの復帰手順

ガス臭くないとき(ガスもれ以外の原因のとき)は、復帰の手順に従って操作してください。
また、地震・台風など自然災害の後にガスをご使用になる際は、ガス機器・接続具や給排気設備に異常がないかご確認ください(詳しくは6ページでご確認ください)。

1 すべてのガス栓・器具栓を開めてください。屋外の機器も忘れずに。使っていないガス栓は閉まっていることをご確認ください。このときメーターガス栓は閉めないでください。

2 復帰ボタンのキャップを左に回してはずします。(キャップのないメーターもあります。)



通常の場合

復帰ボタンを止まるまで強く押し、表示ランプの点灯(1〜3秒)を確認したら、すぐ手を離してください。

3

復帰レバーが
取付けられて
いる場合
(高所設置の場合)

棒などで、復帰レバーを止まるまで強く押し、表示ランプが点灯したらすぐ棒などを離してください。なお、ひも付の復帰レバーの場合は、ひもを復帰レバーが止まるまで引いてください。(足元に十分ご注意のうえ操作をお願いします。)



操作後、表示ランプがチカチカと点滅に変わります。

4 約3分間お待ちください。この間にガスもれなどがいないか確認しています。表示ランプの点滅が終わるとガスが使えます。最後に復帰ボタンのキャップを取り付けます。

※3分経過後も、ガスが止まったままで表示ランプが点滅している場合は、もう一度ガス栓の閉め忘れやガス機器の消し忘れがないかご確認ください。ガス栓の閉め忘れがあった場合は、ガス栓を閉めてから、もう一度復帰の手順に従って操作してください。

なお、マイコンメーターが正常に復帰しない場合、ガスが使用できる状態でマイコンメーターの表示ランプが点滅している場合または不明な点がある場合は、ガス漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へ連絡してください。

●マイコンメーターは、「ガス機器等の誤操作によるガスもれ」や「天ぷら油火災」、「一酸化炭素中毒事故」等を防止することはできません。●マイコンメーターの一次側(上流側)のガスもれには対応できません。●マイコンメーターは誤ったガス機器の使用が原因となる不具合を防止する機能はありません。

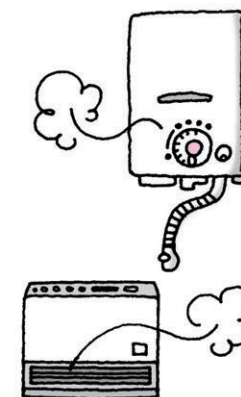
もしも...

⚠ ガス使用中にこんな風になったら...

こんな
症状がでたら



ガス機器の火が
消えたら



警報器が
鳴ったら



ウーウー
ビッポッビッポッ
空気が汚れて危険です。
窓を開けて
換気してください。

- 換気が不十分だと新鮮な空気が不足し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。
- すぐに、ガス機器のご使用を中止してガス漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へ連絡してください。

もしも...

⚠ 天ぷら油火災がおこったら...

水は絶対に
かけないで!



消火器で消してください。

ただし消火器が無い場合は、応急措置として水を含んだ大きなタオルで鍋をおおうような方法もあります。

※水は絶対にかけないでください。
※やけどにご注意ください。



天ぷらなど揚げもの調理をするときはセンサーがついているバーナー(「あげルック」、「揚げもの用」のマークのあるコンロは、そちら側)をお使いください。

油の温度が約370℃まであがると、火種がなくても自然に発火します。

キッチン編



ガスコンロをお使いのときは

✓ 調理中は絶対に離れないで

天ぷらなど揚げものの調理の途中で離れるときは、必ず火を消してください。

※天ぷらなど揚げものの調理をするときは、センサーがついているバーナー（「あげルック」、「揚げもの用」）のマークのあるコンロは、そちら側）をお使いください。



✓ 煮こぼれやふきこぼれなどによる立消えに注意

ガスもれの危険があります。ご注意ください。

※立消え安全装置「消えルック」がついていれば安心です。



✓ 衣服への燃え移りに注意

やけどをする恐れがあり大変危険です。

毛足の長いもの、ゆったりとたれ下がったデザインの衣服は特に注意してください。



✓ バーナーの目づまりに注意

バーナーを時々歯ブラシなどで掃除してください。目づまりしたまま使うと不完全燃焼をおこす原因になります。

バーナーキャップを取り外し、歯ブラシなどで汚れを取ってください。

特にバーナーキャップの裏面にある溝の部分に念入りにお掃除してください。



✓ グリルのご使用時はここに注意

グリルの排気口は
ふさがない

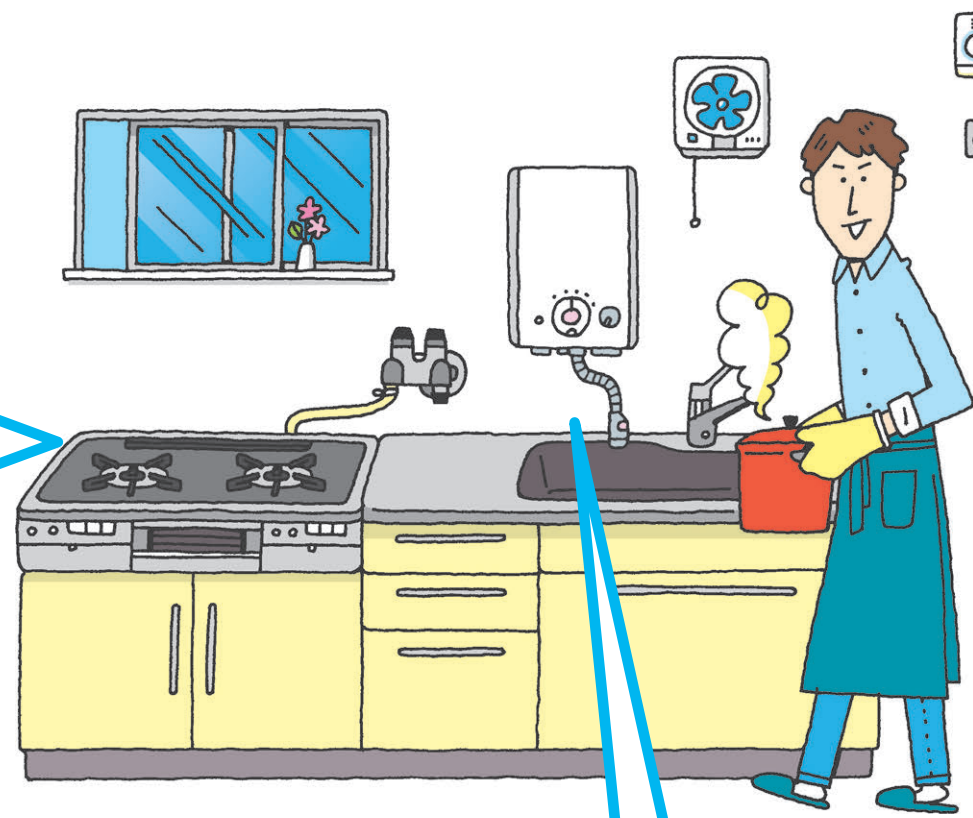
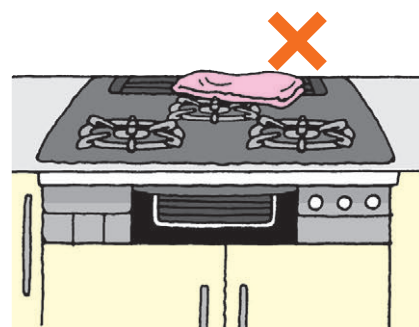
不完全燃焼をおこす原因となり、大変危険です。

グリルの水入れ皿には
必ず水を入れる

脂がたまると発火することがあります。
※機種により、水を入れずに使えるグリルもあります。

グリルを続けて使用する場合は、そのつど
グリル皿にたまった脂などを取り除く

グリル皿にたまった脂が過熱されて発火し、グリル排気口より炎が出ることがあります。



ここにも ご注意ください

✓ ガス機器は壁にくっつけない

壁の表面がステンレスやタイル貼りでも、下地が木材の場合は伝熱火災をおこす場合があります。ガス機器を設置する際は、側壁との距離を十分お取りください。

※設置については、取扱説明書をよくお読みください。

✓ ガス管もチェック

調理の際の水分や塩分・酸が付着するとガス管が腐食しやすくなります。ガスもれをおこす場合がありますので、時々チェックしてください。

※腐食が進行するとお取り替え（有償）が必要になります。東京ガスネットワーク（裏表紙に掲載）にご相談ください。



ガス小型湯沸器をお使いのときは

✓ 汚れや詰まりを時々チェック

熱交換器の目づまりなどが、不完全燃焼の原因になることがあります。上部に汚れやほこり詰まりがないかを時々チェックしてください。また、コンロの近くに設置されている場合、機器の内部に油が付き、部品が固着する故障や、引火など思わぬ事故の原因となります。定期的な点検（有償）をおすすめします。

✓ お風呂などへの給湯は厳禁

ガス小型湯沸器をお風呂・洗濯機への給湯、シャワー、洗髪などで長時間使用することは、故障の原因になるばかりではなく、不完全燃焼の原因となり大変危険です。絶対におやめください。

✓ 点火しにくいとき、無理な点火は厳禁

くりかえし点火をすると、機器内にたまったガスに着火して、機器が破損することがあります。点火しにくいときは何度も点火しようとせず、ご使用を中止し、販売店にご連絡ください。



不完全燃焼防止装置付
ガス小型湯沸器
をお使いの皆さまへ



特にご注意ください。

ご使用される場合は、必ず換気扇を回すか窓を開けて換気をしてください。

ご使用時のこんな現象に注意

使用中に火が消える
（過去に火が消えたことがある）
安全装置が作動している
可能性があります

前板の塗装が部分的に
黒く変色している

炎のあふれ、
異常な過熱
などがある

左記のような現象がある場合に継続して使用すると、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**これらの異常にお気づきの場合は、すぐにご使用を中止し、販売店までご連絡ください。また、使用中に不快な臭いを感じたり、気分が悪くなった場合には、すぐに使用を中止し、ガス漏れ通報専用電話（裏表紙に掲載）へ連絡してください。

あんしんしてご使用いただくために

リビング



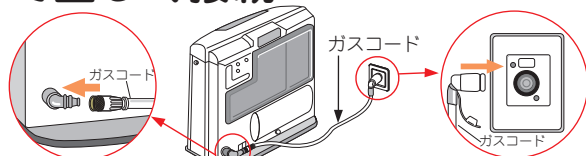
ガスファンヒーター・ガスストーブをお使いのときは1時間に1～2回、1～2分程度換気をしてください。



ガスファンヒーターをお使いのときは

✓ ガスコードで正しく接続

〈ガスファンヒーター本体側〉
ガスコードの**細い方**を
カチッと音がするまで
差し込む。



〈ガス栓側〉
ガスコードの**太い方**を
カチッと音がするまで
差し込む。

※1996年以前に発売したガスファンヒーターは、一部ゴム管接続の機種もあります。

✓ 温風の吹出し口の前にスプレー缶を置かない

熱でスプレー缶内の圧力が上がり、
スプレー缶が爆発する可能性があります。



✓ 使用中に電源プラグを抜かない

ファンが止まり、機器本体が過熱
してやけどをする場合があります。
また、故障の原因にもなります。



✓ 洗濯物を近づけて乾かさない

火災や床面の変色の原因になります。

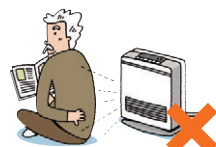


ご使用にならずに長い間収納されていた暖房機器は、部品の劣化、ほこり等の目詰まりにより、炎があふれて火災事故をおこす原因となったり、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。ご使用前の点検整備(有償)をおすすめします。販売店にご連絡ください。



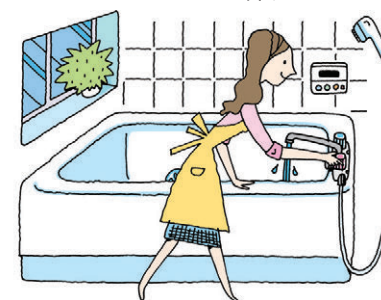
低温やけどにご注意!

ファンヒーターをお使いのときは、高温の温風に長時間当たらないでください。
床暖房をお使いのときは、長時間座ったり、寝そべったりしないでください。
特に、高齢者・小さなお子さまには、周囲の方がご注意ください。



あんしんしてご使用いただくために

お風呂



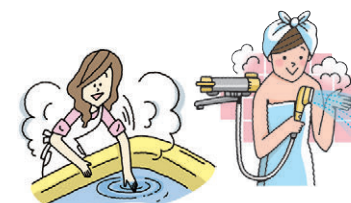
排水栓をした? 水を入れた?
点火の前に再度確認。
排水口はこまめに掃除をし、
水はけをよくしましょう。



お風呂をお使いのときは

✓ 入浴されるときは湯温を確認

お湯はりや追いだきをした場合に、浴そう内のお湯が、場所によって高温になることがあります。浴そうのお湯をよくかき混ぜ、お湯の温度を確かめてから入浴してください。また、シャワーはお湯の温度を確かめてご使用ください。



✓ 排水栓は必ず閉める

空だきは、ガスふろがまや浴そうをいためるだけでなく、火災の原因にもなります。点火の前に、浴そうに水がはれているか確認してください。自動でお湯はりのできるタイプでも、排水栓の確認をしてください。

✓ 寒い夜にはガス給湯器の凍結に注意



リモコンがある場合は、運転スイッチをオフにしてください。
リモコンがない場合は、ガス機器のガス栓をしっかりと閉めてください。



配管が凍らないように、おふろの給湯栓から一分間に約400ミリリットルの水を流し続けてください。浴そうなどで受けると経済的です。

※凍結予防ヒーターが作動しなくなりますので、電気コンセントは抜かないでください。



長年ご使用の給湯器やふろがまは、部品の劣化によって機器が故障したり、機器が損傷を受ける場合があります。また、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。

次のような現象があるときは、すぐにご使用を中止し、販売店にご連絡ください。

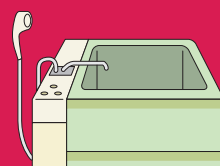
定期的な点検(有償)や早めのお取り替えをおすすめします。

また、使用中に不快な臭いを感じたり、気分が悪くなった場合には、すぐに使用を中止し、ガス漏れ通報専用電話(裏表紙に掲載)へ連絡してください。

- 使用中に不快な臭いを感じたり、気分が悪くなった。
- 運転中の音が大きくなったり、異常な音がするようになった。
- 熱いお湯が出なくなったり、おふろが沸くまでに時間がかかるようになった。
- 機器の一部に変色や変形があったり、穴があいている。
- 排気口付近に、黒いすすの付着が目立つようになった。
- 点火しにくいときや、種火が消えてしまうときがある。

バランス式ガスふろがま をお使いのお客さまへ

特にご注意を
お願いします。



壁と排気筒のすき間をチェック

壁と排気筒の間にすき間がないかご確認ください。すき間があると、排気が浴室内に逆流し、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**



こんな場合は点検を

蛇口またはシャワーを止めても消火が遅れる、種火が消える、熱湯が出る、などの場合は点検(有償)をお申し出ください。



シャワーを使う前にお湯の 温度を確かめましたか?

お風呂をお使いの際に、いったんお湯のご使用を止め、再度蛇口やシャワーでお湯を出すときなどに、高温のお湯がでる場合があります。お湯の温度が安定するのを確認してから、ご使用ください。いきなり身体にかけるとやけどをする場合があります。



排水口は 時々お掃除を

浴室の排水口は時々お掃除をして、いつも水はけをよくしておきましょう。ふろがまが水につかると故障の原因になり、長持ちしません。

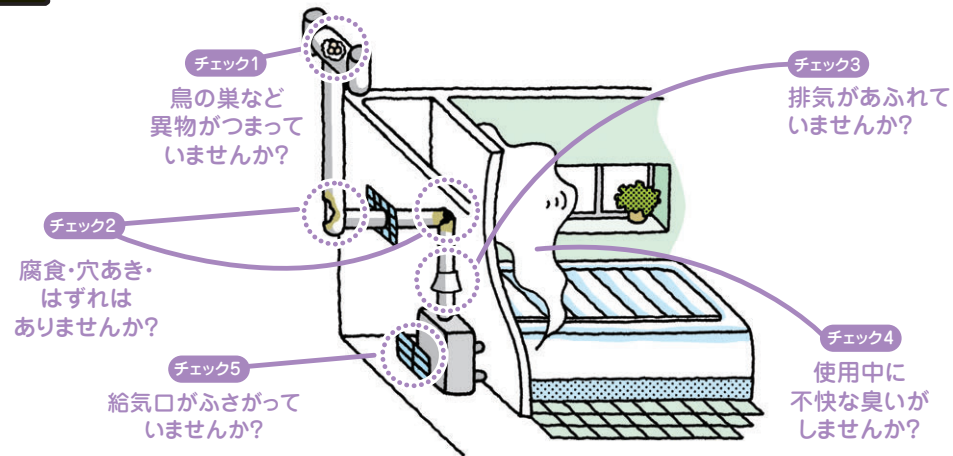
給排気設備編

ガス機器の正常な燃焼には、新鮮な空気と適切な排気が必要です。設置しているガス機器に応じた給排気設備を使用・維持してください。

ガス機器をご使用中に不快な臭いなど、異常にお気づきの場合は、すぐにご使用を中止し、販売店またはCDエナジーダイレクトまでご連絡ください。



屋内(浴室内)設置排気筒付ガスふろがま・給湯器をお使いのときは



✓ 排気筒を時々チェック

給排気設備に不備があると**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**また上の図のような現象があれば、すぐにガス機器のご使用をやめ、CDエナジーダイレクトへご連絡ください。

✓ 給排気設備にこのラベルが貼ってありますか？

屋内にあるガスふろがまやガス給湯器などは、法令により、適正な給排気設備の取り付けが義務づけられています。給排気設備に不備があると、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**ガスのふろがまや大型のガス給湯器などの給排気筒工事を行うには、国で定められた資格が必要です。よく確認して工事を依頼しましょう。施工後、正しく設置されたことを表示したラベルが貼付されていることをご確認ください。(ガス小型沸湯器を除きます。)

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日



屋外設置型ガスふろがま・給湯器をお使いのときは

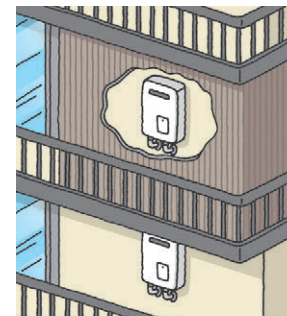
✓ 波板などで周りを絶対に囲わない

屋外設置型のガスふろがま・給湯器などを波板やシャッターなどで囲うと新鮮な空気が不足し、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**また、機器の故障につながる場合があります。

◆戸建住宅の場合



◆集合住宅の場合

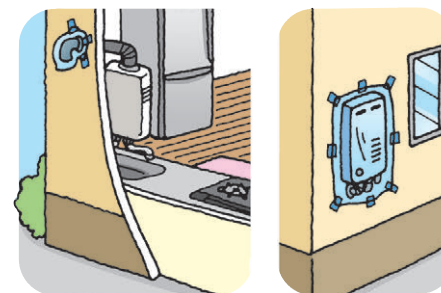


増改築・塗装工事をしているときは

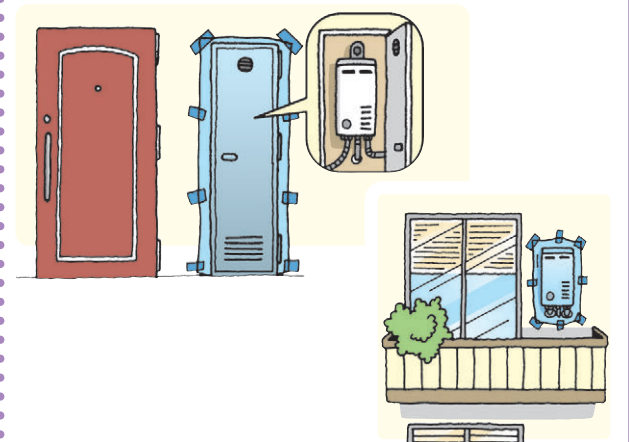
✓ 給排気設備を必ずチェック

増改築工事や塗装工事などで排気筒を取り外したり、給排気設備・ガス機器をシートなどでおおった場合は、ガス機器を使用しないでください。工事が終わったら、排気筒が設置されていること、給排気設備・ガス機器がシートなどでおおわれていないことを確認してから、ガス機器をご使用ください。**シートなどでおおわれたまま使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**また、異常着火による機器故障の原因となります。

◆戸建住宅の場合



◆集合住宅の場合



ガスふろがま・給湯器をお使いのときは

✓ 給気口・排気口をおおわない

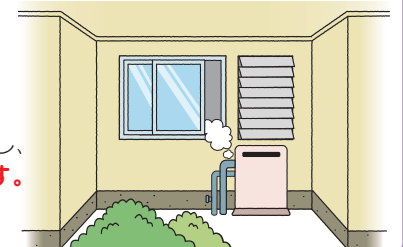
給気口・排気口がふさがれると、新鮮な空気が不足し、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**また、異常着火による機器故障の原因となります。



ガスふろがま・給湯器の排気口周辺に窓などがあるときは

✓ ガスふろがま・給湯器を使用するときは窓を閉める

設置状況によっては、周辺の窓などから排気が室内に流入し、**一酸化炭素中毒による死亡事故につながる場合があります。**(設置状況によっては移設などが必要な場合があります。)



接続具 編

必ず接続口の形状を確認して正しい接続を。
古いゴム管、接続具は早めに取り替えましょう。
また、外観に傷・ひび割れなど異常がある場合
にも取り替えましょう。



正しく接続してください

- サイズ・接続口に合ったものをご使用ください。無理な接続はガスもれ、火災などの原因になります。
- 接続口や接続具の内側に傷がついたり異物が付着すると、ガスもれの原因となりますので、ていねいに、かつ、清潔にお取り扱いください(※1)。
なお、ガス機器を接続していないときは、ガスコード、接続口にはキャップをはめてください。
- 使用していないガス栓には、ガス栓専用キャップをすきまがでないよう、最後までしっかりと差し込んでください(※2)。
- 接続具は、カチッとするまで、きちんと差し込んでください(※3)。
なお、ご使用の際は、きちんと差し込まれていることをご確認ください。正しく差し込まれていないと、ガスもれ、火災などの原因となる場合があります。

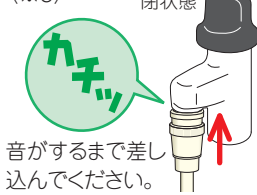
〈※1： 接続具の内側〉



〈※2〉



〈※3〉



機器の接続口がこのタイプの場合は

ガスファンヒーター・炊飯器など

☑ 接続には必ずガスコードをお使いください。



下記の部品を接続しないでください。
ガスもれ、火災につながる場合があります。

使用禁止部品(例)



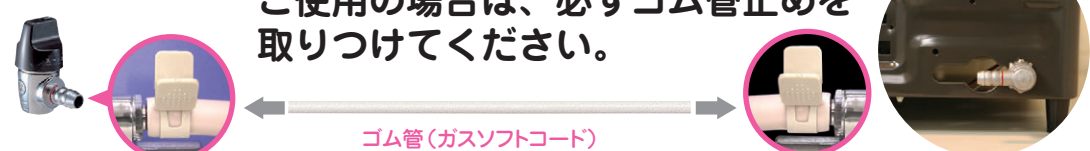
ゴム管(ガスソフトコード)厳禁!



機器の接続口がこのタイプの場合は

ガステーブルコンロなど

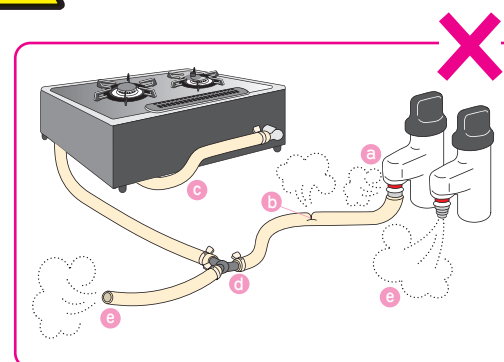
☑ ゴム管(ガスソフトコード)をご使用の場合は、必ずゴム管止めを取りつけてください。



ガス栓が古くなったり、本体にガタツキ、接続部に傷・錆等変形がある場合や、ツマミが動かなくなった場合には取り替えましょう。ガス栓は分解したり、取り外したりしないでください。



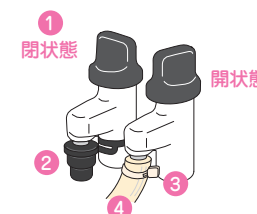
ここにもご注意ください



a ガス栓には、9.5mm径と13mm径の2種類があります。ゴム管はサイズにあったものをご使用ください。ゴム管は赤い線までキッチリ差し込み、必ずゴム管止めを取りつけてください。

- b ひび割れや固くなったものはお取り替えください。特に青いゴム管をご使用の場合は、耐久性が向上したガスソフトコードへお取り替え(有償)ください。
- c ゴム管は、グリルの排気口やテーブルコンロの下や内部など、ガス機器等の高温部から十分に距離を取って接続してください。
- d 三つ又継手はガスもれやゴム管はずれの原因になりますので、使用しないでください。
- e ガス機器が接続されていないときは、ガス栓専用キャップを取りつけ、ガス栓を開けないでください。

旧型ガス栓から安全性の高いガス栓への取り替え(有償)をおすすめしています。



1 ガス栓のツマミ

お出かけ前、お休み前など、ガスをご使用にならないときは、必ずガス栓を開けてください。

2 ガス栓キャップ

使わないガス栓にはガス栓専用キャップをきちんと取り付け、ひび割れなどがあれば、お取り替えください。

3 ゴム管止め

ゴム管が抜けないようにゴム管止めをご使用ください。

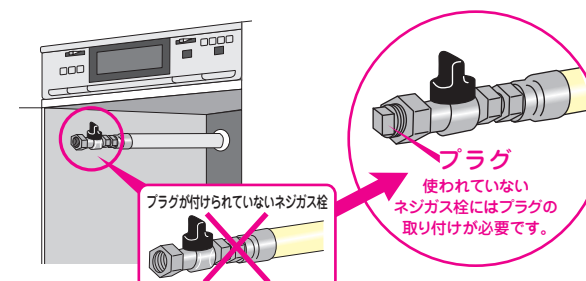
4 ガスソフトコード

お手入れかんたん。現在市販されているガス用ゴム管は全て耐久性にすぐれたガスソフトコードになっています。



☑ 不使用のネジガス栓には、プラグの取り付けが必要です。

- ガス機器が接続されていないネジガス栓にはプラグの取り付けが必要です。プラグのない状態で誤ってネジガス栓を開いた場合、ガスもれ、火災などの原因になります。
- プラグの取り付け工事には専門の技術が必要ですので、詳しくはお近くの設備業者へお問い合わせください。ガス機器を取り外す場合にも、専門の技術が必要です。

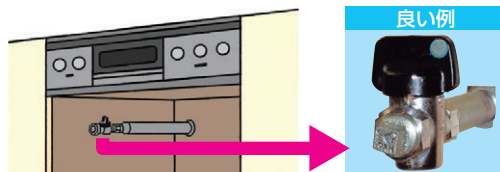


接続工事 編



ガス機器に接続されていないガス栓の閉止工事は有資格者(プロ)に依頼してください

ガス栓を「閉」の状態にしているだけでは、鍋などが当たり、ガス栓が「開」の状態となり、ガスがもれることがあります大変危険です。
有資格者(プロ)の工事では、ガス機器を取り外した後必ずガス栓にプラグを取り付けます。万一、ガス栓が「開」の状態になってもガスはもれません。



良い例



悪い例



特にキャビネット内のネジガス栓にご注意ください

こんなに事例が… ご主人が工事を

テーブルコンロ(据置タイプ)下のキャビネットから、奥さまが天ぷら鍋を取り出そうとしたところ、ガス機器に接続されていない「閉」状態のガス栓に当り、「開」状態となってガスがもれました。この状態でコンロを点火したところ、もれたガスに引火して、火傷をされました。以前、ご主人が既設のビルトインコンロからテーブルコンロ(据置タイプ)への取替時に、キャビネット内の金属可とう管を器具接続部から取外し、ガス栓は「閉」の状態にはしましたが、金属可とう管の先端は、開放されたままでした。



無資格の設備業者が工事を

テーブルコンロ(据置タイプ)下のキャビネットから、奥さまが天ぷら油を取り出しコンロを点火したところ、キャビネット内の金属可とう管の先端部から火が出ました。数日前、設備業者が既設のビルトインコンロからテーブルコンロ(据置タイプ)へ取替えた際、金属可とう管を器具接続部から取外し、ガス栓は「閉」にしたものの、金属可とう管の先端は開放されたままでした。



うっかりガス栓を開けてしまって

中学生の娘さんが、テーブルコンロ(据置タイプ)を点火しようとして、無意識にキャビネット内のガス栓を開栓し、ガスのもれに気付かずテーブルコンロ(据置タイプ)を点火したところ引火しました。



フライパンがガス栓に当り

テーブルコンロ(据置タイプ)下のキャビネット内から、ご主人がフライパンを取り出そうとしてガス栓に当り、「開」状態になり、ガス栓に接続されていたゴム管(先端が開放)からガスがもれ、テーブルコンロ(据置タイプ)使用時に引火しました。



ガス機器が正しく設置されていない場合、接続箇所からガスがもれ、着火・爆発の原因となるおそれがあります。

ガス機器とガス栓の接続工事には、専門の技術が必要です！



固定して使用するガス機器は、お客さまご自身で設置しないでください

固定して使用する
ガス機器の場合の一例



ふろがま・湯沸器、
ビルトインコンロなど

接続具の例

金属可とう管

強化ガスホース

ガス栓の例

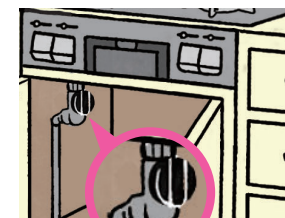


ガス接続工事を伴うガス機器の設置の際は、必ず販売店までご相談ください

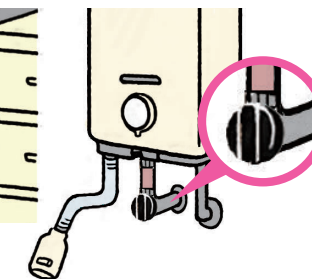
固定して使用するガス機器とガス栓の接続例



ビルトインコンロ



小型湯沸器



有資格者(プロ)による工事では設置条件に応じた適切な材料で確実に接続するため、あんしんしてガス機器をお使いいただけます。

ポイント

- 固定して使用されるガス機器の設置には、安全性などの面から、最新の知識や専門的な設置技能が必要です。
- 特に屋内に設置する一部のガス機器については、法令により適正な給排気設備の設置が義務付けられており、工事を行う場合は国で定められた資格が必要です。対象となるガス機器または設置工事の方法は、販売店にお問い合わせください。

業務用 編 1

ガス機器は、きれいに保つことで長くお使いいただけますが、経年劣化は避けられません。異常を感じたらそのままにせず、機器メーカーまたは販売店にメンテナンスを依頼してください。



ガス機器全般に関するチェック

側壁との距離を十分にとる

壁の表面がステンレスやタイル貼りでも、下地が木材の場合は、伝熱火災をおこすことがあります。ガス機器を設置する前には、側壁との距離を十分とるなど、取扱説明書をよくお読みの上で設置してください。

ご使用方法を必ず確認

使用前は必ず取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。

ガス管もチェック

調理の際の水分や塩分・酸が付着するとガス管が腐食しやすくなり、ガスもれをおこす場合があります。特に床にスノコを敷いていてガス管が見えない場合は、時々スノコを上げてガス管を点検してください。また、露出しているガス管も点検をお願いします。

※腐食が進行するとお取り替え（有償）が必要になります。詳しくは東京ガスネットワーク（裏表紙に掲載）にご相談ください。

※長期間ガスを使用していない状態で使用を再開する場合は、ガスの臭い等の異常がないかをご確認ください。

金属管・金属可とう管で接続した機器は動かさない

万一動かすと、ガスもれの原因になる場合があります。

点火・消火を必ず確認

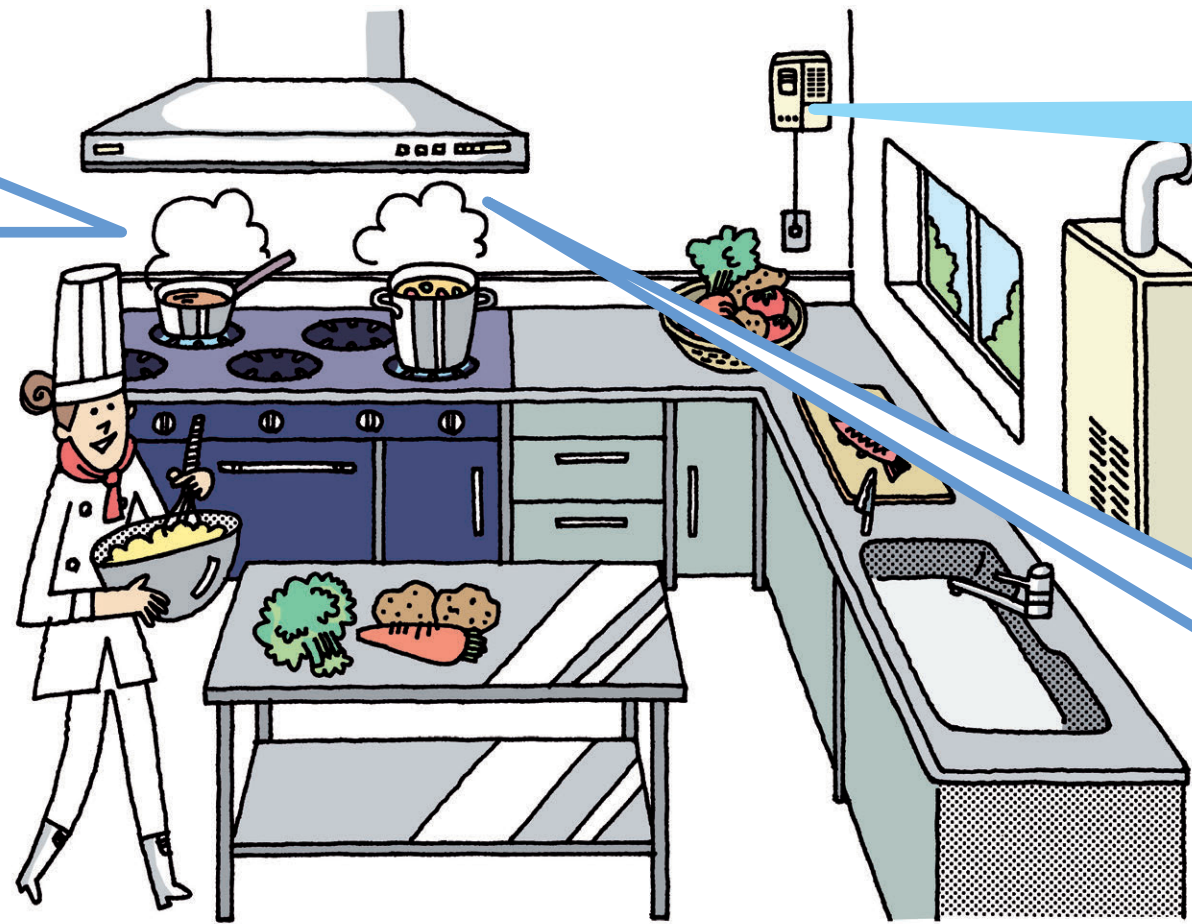
点火したあとは、必ず着火したかどうかをお確かめください。消火のときも、器具栓をしっかり閉め、炎が完全に消えたことを確認しましょう。閉店または退社されるときは、器具栓だけでなく、ガス栓も必ず閉めてください。



不快な臭い、目がしみる、頭痛があれば、使用をやめる



ガスの安全使用に関しての留意点について、『あんしんガイド』を用いて、従業員の方へ十分にご周知をお願いします。



ガスの臭いや危険を感じたときは、速やかに

お客さまを安全な場所に避難誘導してください。



特殊な状況で ご使用の場合

●酸素・圧縮空気などと都市ガスをあわせてお使いになるときは、必ずCDエナジーダイレクトにご相談ください。誤ったご使用方法や安全装置の未設置が原因となり、爆発や火災をおこす場合があります。

●理・美容院、クリーニング店、工場など特殊な薬品を使用する場所では、排気筒（煙突）のない開放型および排気筒（煙突）で接続されている半密閉燃焼式のガス機器は設置しないでください。



ガス・CO警報器のおすすめ

ガスもれや不完全燃焼を

光と音声でお知らせします

ガスもれ、あるいは不完全燃焼によって発生した一酸化炭素（CO）を検知した場合、光と音声でお知らせします。また両方が同時に発生した場合には、交互に警報を繰り返します。



※有効期限（5年）がきたらお取り替えください。

※ガスもれ警報設備および自動ガス遮断装置を設置されているお客さまは、定期的な点検（有償）を行ってください。

※地下街や地下室でガスをお使いの場合でガスもれに気づいたら、管理人やガス漏れ通報専用電話（裏表紙に掲載）および消防署へ連絡してください。



排気設備を ご使用の場合

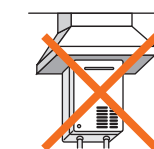
排気ダクトの汚れや詰まりを時々チェック

油やほこりがたまると火災や一酸化炭素中毒の危険性があります。定期的に排気ダクトフード内の掃除をしてください。

防火ダンパーが排気をふさいでいないかを確認

排気が妨げられると、一酸化炭素中毒の危険性があります。

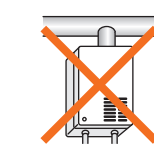
排気設備は正しく設置する



正しくない例1

屋外設置形
湯沸器のフード受け

※屋外に取り付けてください。



正しくない例2

強制排気式湯沸器の
排気ダクト直結

※排気筒は直接屋外へ出してください。

※排気ダクト直結型の機器は接続可能です。



「開店前」「閉店後」の作業時にも『必ず換気』をしてください。

新鮮な空気が不足すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。ガス機器をお使いになるときは、必ず換気をしてください。

換気設備のスイッチの位置・使用方法等はガス機器をお使いの前に確認をお願いします。

業務用 編 2



換気設備のスイッチの位置を確実に周知してください。

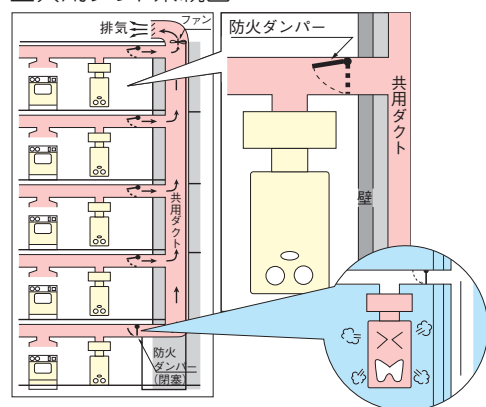


排気ダクトについてのご注意

共用機械排気方式のダクトによるガス機器の排気設備をお持ちのお客さまは、下記の点にご注意ください。

- ①ガス機器は、排気ファンの稼働中にご使用ください。
- ②排気ダクトに防火ダンパーが設置されている場合は、防火ダンパーが作動して（排気ダクトをふさいで）いないことをご確認ください。
- ガス機器の排気が十分に行われないと、不完全燃焼をおこし、排気ガスが室内に流入して一酸化炭素中毒をひき起こすおそれがあり、危険です。
- ガス機器が正常に燃焼するためには、排気とともに新鮮な空気が必要です。給気口は絶対にふさがないでください。
- ガス機器ご使用中に、万が一やな臭いがしたり、目にしみたりしたときは、ガス機器の使用を中止し、窓や扉を開けて新鮮な空気を入れ、ガス漏れ通報専用電話（裏表紙に掲載）へ連絡してください。

■共用ダクト系統図



換気扇・換気装置の作動を必ず確認！



換気は十分か、不完全燃焼していないか...使うたびに確かめて。



給排気にご注意！
ガスを安全にお使いいただくために、こまめな点検・お手入れを。

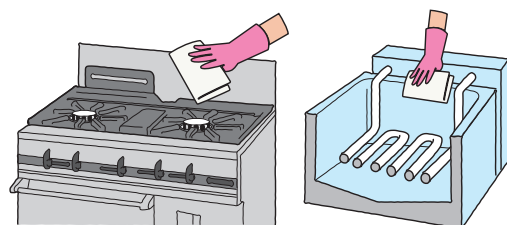


換気を忘れず、いつも安心、快適なオフィス。



✓油汚れ用強力洗剤のご使用について

厨房機器のアルミ、銅、真鍮部分等には、油汚れ用強力洗剤を直接塗布しないでください。錆、腐食の原因によりガス漏れをおこす可能性があります。



一人一人が換気を確認

湯沸器などガス機器をお使いになるときは、その都度、使う人が換気扇などで換気してください。うっかり換気を忘れると、危険な一酸化炭素中毒や死亡事故につながる場合があります。



ガス機器のご使用に際しては

必ず給排気設備が必要です!!

ご注意 1

ガス機器を使用する部屋などには給気口が必要です！



ご注意 2

シャッターが閉まっても屋外に排気される設備が必要です。



ボイラー等をご使用される場合は、定期的な点検をお願いします。

ご注意 1

ボイラー等の煙突（排気筒）の先端部に、障害物、ゴミ等はありませんか？

ご注意 2

ボイラー等の煙突（排気筒）が外れたり、隙間ができていませんか？

ご注意 3

ボイラー等が設置されている部屋の換気を行う窓を閉め切ったり、給気口をふさいでいませんか？

ご注意 4

ボイラー等のファンに作動不良や従来にない異音、等の異常がありませんか？

お願い

- 点検の結果、異常があった場合は使用を控えていただき、販売店等へご連絡ください。
- 日常的な点検も合わせてお願いします。

給排気設備や換気設備、ガス機器等に異常がある場合に継続して使用すると、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。これらの異常にお気づきの場合は、すぐにご使用を中止し、販売店までご連絡ください。

また、使用中に不快な臭いを感じたり、気分が悪くなった場合には、すぐに使用を中止し、ガス漏れ通報専用電話（裏表紙に掲載）へ連絡してください。

よりあんしんしてガスをお使いいただくために

下記のガス機器は、ご使用状況によっては、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこす場合があります。お持ちの方は、不完全燃焼防止装置のついた**あんしん・あんぜん**なガス機器にお取り替えください。

不完全燃焼防止装置のついていない

ガス小型湯沸器

⚠ この現象に注意

使用中に
火が消える
(過去に火が消えた
ことがある)

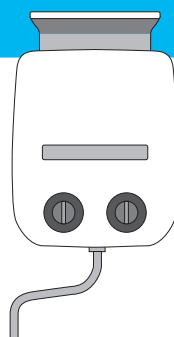
ススが
付着
している

前面の
塗装部が
変色

不快な
臭いがする

炎が
あふれる

異常な過熱



不完全燃焼防止装置のついていない屋内設置型の

ガス給湯器・ふろがま

⚠ この現象に注意

排気ファンが
回っていない
(強制排気式の場合)

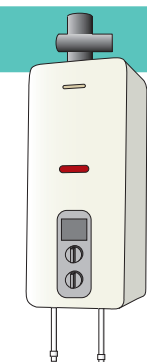
不快な
臭いがする

炎が
あふれる

異常な過熱

ご使用上の注意

お使いのときは、給排気設備に不備がないことを確認してください。詳しくは、13ページの給排気設備編をご確認ください。



安全装置のついていない

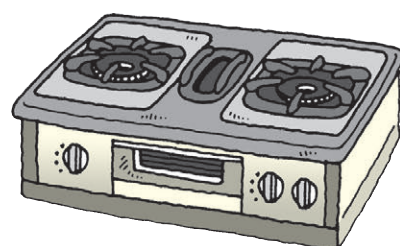
ガスコンロ

⚠ この現象に注意

燃焼部分が
変形している

ススが
付着
している

炎が
あふれる



⚠ **ガス機器をご使用の際は換気を！ ～一酸化炭素中毒にご注意ください～**
ガス機器をご使用の際は必ず換気を行ってください。換気が不十分だと新鮮な空気が不足し、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。**

※一酸化炭素は無色・無臭なので気づきにくいですが、毒性は強力で、少量でも危険な気体です。一酸化炭素中毒の症状は頭痛やほきなど風邪に似ていて、手足がしびれて動けなくなることもあります。また重度だと、意識不明や死亡に至ることもあります。

上記のような現象があるときは、すぐにご使用を中止し、販売店にご連絡ください。

定期的な点検（有償）や早めのお取り替えをおすすめします。

また、使用中に不快な臭いを感じたり、気分が悪くなった場合には、すぐに使用を中止し、ガス漏れ通報専用電話（裏表紙に掲載）へ連絡してください。

ご存知
ですか？

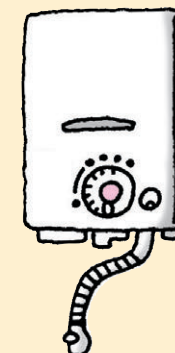
よりあんしんしてガスをお使いいただけるように、**あんしん・あんぜん**な機能を搭載したガス機器をご紹介します。

ガス小型湯沸器

不完全燃焼防止装置がついて**あんしん**！

万一新鮮な空気が不足しても、不完全燃焼をする前に安全装置が作動し、自動的にガス小型湯沸器の運転を停止します。

ガス小型湯沸器をお使いのときは必ず換気扇を回すか窓を開けて換気をしてください。



ガス給湯器

屋外
設置型

屋外設置で
あんしん！

屋外設置型のガス給湯器は、屋外の新鮮な空気を取り入れ、排気も屋外に排出します。



屋内
設置型

不完全燃焼防止
装置がついて
あんしん！

最新の屋内設置型のガス給湯器、ふろがまは、不完全燃焼を検知すると自動的に運転を停止します。



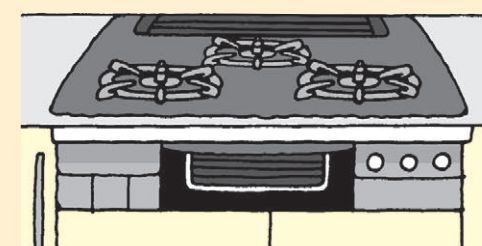
ガスコンロ

Si 全ロセンサー搭載

センサーコンロには、
すべてのバーナーにセンサーが
ついていて**あんしん**！
そして便利！



このマークのついた
ガスコンロが
Siセンサーコンロです。



Si 全ロセンサー搭載

のすべてのバーナーに
ついてます。

調理油
過熱防止

センサーが鍋底の温度を検知し、油温を常にチェック。油温が約250℃を保つように自動的に火力を調節して、発火を防止します。

消し忘れ
消火

煮込みや炊きものなど、長時間火にかけて作る料理の場合、万一火を消し忘れてしまっても大丈夫。自動的に消火します。

鍋なし
検知

鍋のない状態では点火しません。また、コンロ使用中にごとくから鍋を外すと弱火になり、そのまま使用しないと、約1分後に自動的に消火します。

音声
お知らせ

各種機能の設定状況や安全装置の作動を、音声によるアナウンスでお知らせします。

焦げつき
自動消火

煮ものなどのとき、お料理の焦げつきを初期段階で検知して自動的に消火します。

立消え
安全装置

煮こぼれや風などでバーナーの火が消えても自動的にガスを止め、ガスを防ぎます。

地震
停止

震度約4以上の揺れを機器本体が感知すると、コンロの火を自動的に消火します。

さらに、温度キープや調理タイマーなど、便利で多彩な機能が
ついた機種もあります。

よりあんしんしてガスを
お使いいただくために

よりあんしんしてガスをお使いいただくために

ガスストーブのご使用に際してのお願い

暖房中は必ず換気を!!

お部屋を閉めきったまま暖房を続けていると、新鮮な空気が不足して、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながる場合があります。



ご使用中は
1時間に1～2回
1～2分程度
換気を
してください



ガスストーブをご使用中に以下のような現象がある場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒をおこし、死亡事故につながるおそれがあります。ご使用をすぐに中止していただき、販売店にご連絡ください。また、使用中に不快な臭いを感じたり、気分が悪くなった場合には、すぐに使用を中止し、ガス漏れ通報専用電話（裏表紙に掲載）へ連絡してください。



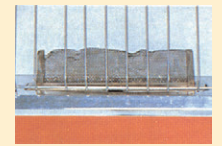
不快な臭いがする。



ススが
付着している。



炎が
あふれている。



燃焼部分が
変形している。

燃焼部分が下記のような金網式ガスストーブをお持ちの方は、販売店またはCDエナジーダイレクトまでご連絡ください。



《金網式ガスストーブ 対象機器》

メーカー型式 基本表示

GH-***	GHR-***	GSN-***B	GVB-***A(2)	UH-***
GH-***G	GHR-***G	GSN-***B(M)	GVO-***	UHG-***
GH-***A	GHR-****	GSN-***B(W)	VHG-***	UHS-***
GH-****	GHR-****G	TS-***	VHG-***A	LS-***
GH-****G	GS-***	TS-***(U)	VVG-***	LS-***A
GHB-***	GS-****	TS-***(U-2)	RSN-***	VC-1
GHB-***G	GS-****N	GS-***	GX-***	VD-4
GHB-***AG	GS-****(G)	GS-***(1)	RSG-***	
GHB-****G	GSN-***	GVB-***	RSG-****	

*には型番の数字が入ります

ガスファンヒーター

不完全燃焼防止装置がついてあんしん！

万一新鮮な空気が不足しても、不完全燃焼をする前に安全装置が作動し、自動的にガスファンヒーターの運転を停止します。
また、転倒時ガス遮断装置がついているので、万一本体が倒れても、ガスを止めて運転を自動停止します。

ガスファンヒーターをお使いのときは1時間に1～2回、1～2分程度換気をしてください。



ガスファンヒーターで暖房をする場合は、必ず別売りのガスコードが必要です。詳しくは15ページの接続具編をご覧ください。

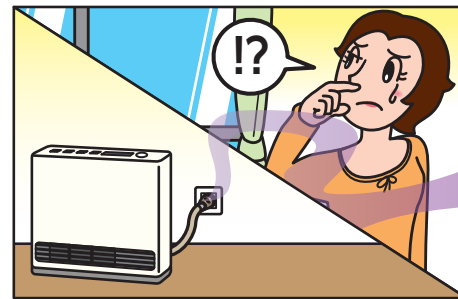
お使いの**ガスコード**は、
古くなっていませんか？

ガスファンヒーターやガス衣類乾燥機、ガス炊飯器とガス栓をつなぐ「ガスコード」は、樹脂とゴムを使用した製品であり、時間とともに劣化します。

劣化が進むとガス漏れする場合があります。

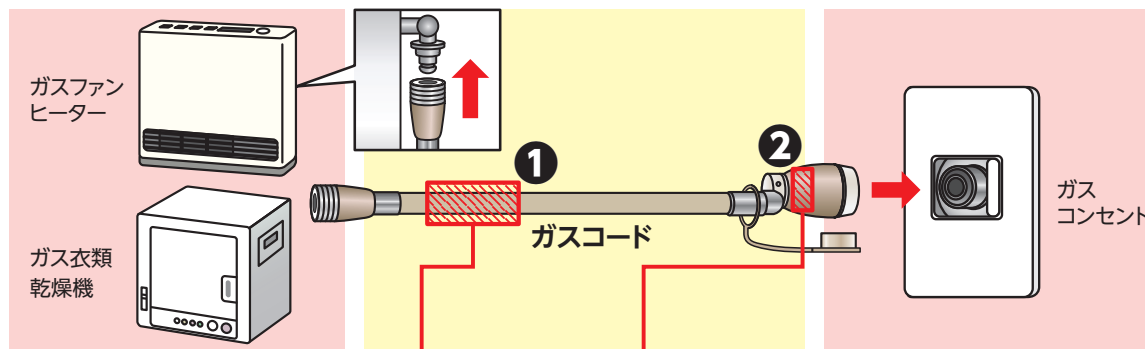
外観上の異常がなくても、ガス機器を買替える際や製造後7年程度を目安に、新品のガスコードとお取替ください。

なお、汚れがひどい場合や破損した場合は、耐用年数に関係なく直ぐにお取替えください。



耐用年数目安 ガスコード7年

製造年月確認方法

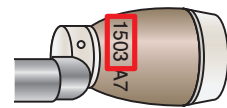


① ホース部に記載されている例

7.6kW 以下 7 (メーカー名) T 1411

1411の場合 ⇒ **2014**年**11**月製

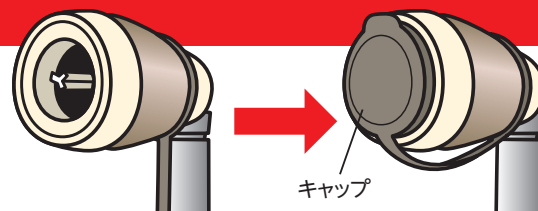
② 接続部に記載されている例



1503の場合 ⇒ **2015**年**3**月製

ガスコード使用時、収納時の注意点

ガスコードの接続部にゴミの付着等がないことを確認して接続してください。接続部にゴミ等が付着しているとガス漏れを起こす場合があります。ゴミ等が入り込まないよう、使用しない時は付属のキャップをかぶせてください。



ガスコードは、最寄りのガス機器販売店・ホームセンター等でご購入いただけます。

お持ちのガス機器をご確認ください

- 取扱説明書を必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- 10年程度以上ご使用になった機器については点検(有償)をお勧めします。
メーカーまたは販売店にお問い合わせください。

お客さまにて、お持ちのガス機器の情報についてお控えいただき、点検修理やお取り替えの際にご活用願います。

ふろがま・給湯器				
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日
小型湯沸器				
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日
ガスコンロ				
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日
ガス炊飯器				
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日
ガスファンヒーター・ガストーブ				
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日
メーカー名		型式		製造年月
お買い上げ店名				購入年月日

よりあんしんしてガスをお
使いいただくために

ガス機器の お手入れ術

あんしんしてご使用いただくために

天板

台所用中性洗剤を含ませた
布巾やスポンジなどで
汚れを取りましょう。



●ガラストップ・Gクリアコート天板
ガンコな汚れの場合、汚れた
箇所にガラストップ専用クリー
ナーやクリームクレンザーを
つけて、ラップでこすります。
金属たわしや磨き粉は表面を
傷つけることがありますので使
わないでください。

※お手入れの際は手袋を
使ってください。

ごとく・汁受け皿

スポンジや歯ブラシに
台所用中性洗剤をつけて、
汚れをこすり落とします。

●ガンコな汚れの場合…

古い鍋にたっぷり水を入れ、汁受け皿、
ごとくを入れて火にかけます。沸騰した
状態で約30分おくと、こびりついた汚れ
が浮き出てきます。火を止め冷ましてから、
浮き出た汚れをスポンジや歯ブラシ
でこすり落とします。



コンロ編



エア フィルター

●1ヶ月に1回のお手入れ
掃除機などでホコリを吸い取りましょう。

●汚れがひどいとき
油などで特に汚れて
いる場合は、中性洗剤
で良く洗い、十分に
乾燥させてください。

※本体から取りはずして
お手入れしてください。



本体 温風吹き出し口

●1ヶ月に1回のお手入れ
ホコリを掃除機で吸い取ったり、
柔らかい布などで拭き取って掃除
してください。



ファン ヒーター編

集じん板 (空気清浄機能付タイプ)

●1ヶ月に1回のお手入れ
中性洗剤を使い、歯ブラシなどで汚
れを落とした後、十分に乾かしてくだ
さい。「ごすり洗い禁止」のタイプもあ
ります。



※集じん板の端面は鋭いので安全の
ため手袋を使ってください。

浴そう

●日々のお手入れ
石けんカスなどの汚れは乾燥すると
落ちにくくなるので、バス用の洗剤
で毎日洗いましょう。

●汚れがこびりついたとき
がんこな湯あかや黒ずみにはクリー
ムクレンザーがおすすめです。洗剤あ
とが残らないよう、よく水洗いしまし
ょう。

※人工大理石の浴そうは表面の光沢
を保つため、中性洗剤とやわらかい
布でのお手入れをおすすめします。



お風呂編

タイル目地

●日々のお手入れ
漂白剤配合のクレンザーをペース
ト状に溶かし、古い歯ブラシなど
で目地にそって塗ります。30分位
そのままにし、あとはよく水で洗い
流します。

●汚れがこびりついたとき
カビ専用の洗剤で落としてくだ
さい。

小物類

●風呂ふた
バス用洗剤で洗い、水気を拭きとっ
てから陰干しします。

●シャワー/ホース部
バス用洗剤をつけたティッシュペ
ーパーを貼り、30分位そのままに
してあとは軽くこすります。

ガスの 節約術

かしこくご使用いただくために

暖房温度の 設定は低めに。

快適な室温は20℃です。
少し低めに設定しましょう。
床暖房なら頭寒足熱で足元からポカポカ
するので、室温が低めでも快適です。



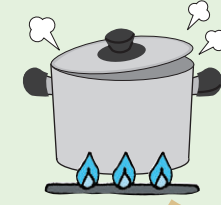
シャワーは 上手に使って。

シャワーは出しっぱなしにしないよう
にしましょう。
シャワーを18分間使うと、浴そうに約
一杯分のお湯になります。



フタを上手に使って。

パスタや野菜をゆでるため、お湯
を沸かすときなどは、フタをした方
がおトクです。煮炊きする時も上
手にフタを使ってください。



洗いのものは 適温のお湯で。

油汚れでも、約40℃のお湯で洗えばき
れいになります。汚れに合わせて、お
湯の温度を調節してください。



バーナーは よくお手入れを。

ガスコンロのバ
ーナーは油や煮
汁などで意外と
汚れています。
バーナーが目詰
まりすると、効率
が下がるので、
ときどき歯ブラシ
でお手入れを。

※お手入れの際は手袋を
使ってください。



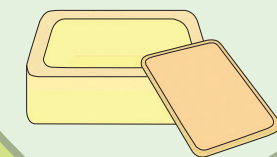
入浴は続けて。

お風呂は沸かしたら、後は湯温は下
っていくばかり。沸かした後は続け
て入浴しましょう。



浴そうの フタはマメに。

浴そうにフタをするかしらないかでお湯
の冷め方に大きな違いがあります。
こまめにフタをしてください。



小さな工夫で 省エネを。

●カーテンやブラインドで夏の日差し
や冬の寒さを上手に防いで、冷暖房
効果をアップ。
●外気に面した壁から熱を逃がさない
ように、背の高い家具を壁ぎわに並
べると効果的です。
●壁、天井などに断熱材を入れるなど、
小さな工夫が大きな省エネに
つながります。

詳しいお手入れ方法は必ず機器の取扱説明書をお読みください。

ガスの
節約術